



国土交通省

国土交通省 千曲川河川事務所

Chikumagawa River Office
Hokuriku Regional Development Bureau
Ministry of Land
Infrastructure, Transport and Tourism

【取り扱い】 本資料の発表をもって解禁

記者発表資料
令和元年12月9日

千曲川の水害から逃げ遅れゼロを目指すため 「情報提供検討部会」を新たに設置しました。

令和元年10月の台風19号水害では、沿川の自治体では早めの避難勧告や避難指示を発令して住民の避難を促しましたが、自宅での避難を判断し、結果として救助される事態が発生しました。

このような大洪水を経験して明らかとなった課題等について、沿川の関係者で共有し、改善点やより効率的な情報提供等について検討するため、「千曲川・犀川大規模氾濫に関する減災対策協議会」構成員による「情報提供検討部会」を新たに12月6日に設置しました。

今後「情報提供検討部会」で検討した内容については、減災対策協議会において報告する予定です。

詳細は参考資料を参照下さい。

「情報提供検討部会」構成機関名

市町村：長野市、松本市、上田市、須坂市、中野市、大田市、飯山市、千曲市、安曇野市、生坂村、池田町、松川村、坂城町、小布施町、木島平村、野沢温泉村、栄村
行政機関：長野地方気象台、長野県危機管理防災課、長野県河川課、千曲川河川事務所

(参考)

「千曲川・犀川大規模氾濫に関する減災対策協議会」

平成27年9月の関東・東北豪雨による大規模な浸水被害の発生を踏まえ、河川管理者、県、市町村等が連携・協力して、減災目標の共有、ハード・ソフト対策の一体的、計画的な推進、氾濫の発生を前提に社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」の再構築を目的として平成28年4月に設立しています。

【配布先】

- ・長野市政記者クラブ
- ・長野県庁会見場
- ・新建新聞社
- ・長野経済新聞社
- ・日本工業経済新聞社 長野支局

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局
千曲川河川事務所 026(227)7611
副所長（管理）万行 康文（まんぎょう やすふみ）

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>

千曲川逃げ遅れゼロを目指した情報提供検討部会

目的

令和元年10月の台風19号水害では、千曲川本川の各水位観測所で計画高水位を超過し、多くの地点で越水氾濫が発生した。沿川の自治体では早めの避難勧告や避難指示を発令して住民の避難を促したが、ヘリコプター等で救助される事態が発生した。

このような状況を踏まえ、防災関係機関の情報発信や伝達方法、住民への伝わり方を検証し、大洪水を経験して明らかとなった課題等を沿川の関係者で共有して、改善点やより効果的な情報提供等のソフト対策を検討するものである。

部会の構成メンバー

「千曲川・犀川大規模氾濫に関する減災対策協議会」構成員により、上記目的を検討するため「情報提供検討部会」を新たに設置する。

- ・地域防災事務を担う者（住民避難等）
長野県危機管理防災課、市町村（危機管理防災担当）
- ・水防事務を担う者 市町村（消防防災担当）
- ・気象予報を担う者 長野地方気象台
- ・河川管理者 千曲川河川事務所、長野県河川課

部会での検討内容（案）

台風19号での実態や課題、更なる改善点など、住民の確実な避難行動に結びつく情報伝達のあり方を検討する。

- ・情報発信（内容・タイミング等）
- ・伝達手法（関係機関、住民への手法）
- ・住民への伝わり方（住民の受けとめ、理解、行動実態）住民アンケート調査

今後のスケジュール（案）

- 12月6日 「情報提供検討部会」の開催、設置
- 1月頃 避難実態の住民アンケート実施（長野市長沼地区等）
- 1～3月頃 課題の抽出、対応方針（案）の検討
- 3月頃 「千曲川・犀川大規模氾濫に関する減災対策協議会」にて報告を予定